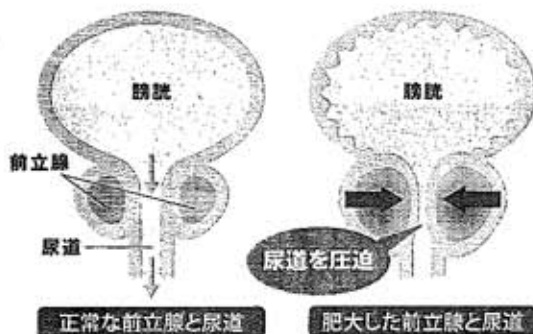


悩んでいませんか？

# 排尿のトラブル

～知っておこう！「前立腺肥大症」～



正常な前立腺と尿道

肥大した前立腺と尿道

法が中心で、使用する薬は「前立腺と膀胱・尿道の緊張を緩める薬」と「前立腺を小さくする薬」に大別されます。前立腺の大きさや症状に合わせて、どちらかの薬、

または両方を組み合わせて使用されます。また、症状が重い場合や薬の効果が不十分な場合には、内視鏡を使った手術が行われることもあります<sup>※2</sup>。

55歳以上の男性の5人に1人が罹患している<sup>※1</sup>ともいわれています。

## 年齢のせいだとあきらめないで

実は「前立腺肥大症」は早期の治療がとても大切です。なぜなら、進行性の疾患なので「トシだから仕方がない」とあきらめ放置しておく、前立腺の肥大が進み、症状がどんどん悪くなってしまふからです。トイレの回数が増えたり、排尿が我慢できなくなったり、症状が進めば旅行やドライブなどの外出がおっくうになって生活の質を下げることにもつながりかねません。

病院での検査は問診や超音波検査など、時間がかからず身体的負担の少ないものがほとんど。少しでも排尿に関して気になる症状がある人は、泌尿器科を受診しましょう。

「前立腺肥大症」の治療法は年々進歩しており、治療の選択肢も増えてきています。多くの場合は薬物療

## メタボとの関連性を指摘する研究も

「前立腺肥大症」の研究も進んでいます。最近注目されているのはメタボリックシンドロームとの関連性です<sup>※3</sup>。メタボリックシンドロームに起因する肥満や高血圧、高脂血症、糖尿病など生活習慣病の因子をたくさん持っている人ほど、排尿トラブルに悩まされている人の割合が多い、という報告もあります<sup>※4</sup>。

全身の健康のためにも、排尿に関することで気になることがあるなら泌尿器科に相談を！



## 前立腺肥大症の主な治療法<sup>※2</sup>

### 薬による治療

前立腺肥大症の治療に使用される薬の種類は二つのタイプに分けられます。

前立腺を小さくする薬

前立腺と膀胱・尿道の緊張を緩める薬

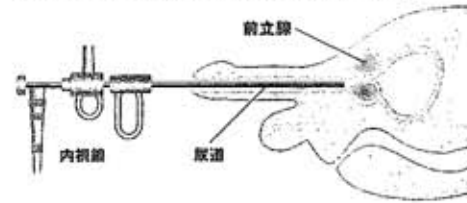


前立腺肥大症の発症と進行に関わっている男性ホルモン(ジヒドロテストステロン)の活性を抑制することで、肥大化した前立腺そのものを小さくし、尿を出しやすくします。

前立腺と膀胱・尿道の緊張を和らげることで尿道の閉塞を減少させ、尿を出しやすくします。前立腺を小さくする作用はありません。

### 手術による治療

前立腺肥大症の手術はほとんどの場合、尿道から専用の内視鏡を挿入して行われます。



代表的な術式には、電気メスで肥大した部分を削り取る「経尿道的前立腺切除術(TURP)」と、レーザーや電気メスで肥大した部分をくり抜くように切除する「ホルミウムレーザー-前立腺核出術(HoLEP)/電気メスによる前立腺核出術(TUEB)」があります。

さらに詳しい内容を朝日新聞デジタルサイトに掲載しています。朝日新聞 http://www.asahi.com/ad/zenritsusenhidaisyo DIGITAL

監修 福井大学医学部 泌尿器科学講座 教授 横山 修 先生



## 55歳以上の男性の約5人に1人が罹患

前立腺はクルミ程度の大きさをした生殖器官で、男性特有の臓器です。膀胱のすぐ下、尿道を取り囲むように存在し、精液の成分である前立腺液を分泌するなどの役割を担っています。ところが、前立腺は何らかの原因で肥大化すると尿道を圧迫し、尿が出にくくなるなどの排尿トラブルを引き起こします。これが「前立腺肥大症」です。

前立腺は40代後半を過ぎた頃から男性ホルモンなどの影響を受けて多くの男性で徐々に大きくなっていく傾向がみられます。加齢に伴い「前立腺肥大症」に罹患する人は増え、

※1 大塚誠一郎ほか、PROGRESS BY MEDICINE、2006；20(9)：1419-1423 ※2 日本泌尿器科学会(編)、前立腺肥大症ガイドライン、リッパヒメディア社、2011 ※3 De Marco C. et al. Eur Urol. 2012; 61(2): 560-570 ※4 Park YW. et al. Urology. 2012; 82(5): 674-675.

## こんな症状を感じていませんか？

- オシッコの勢いが弱い
- 夜中に何度もトイレへ行く
- 急にオシッコがしなくなり、我慢できない
- 排尿後もオシッコが残っている感じがする



このような排尿トラブルには、多くの場合その背景に原因となる疾患が存在しています。放っておくと症状が悪化してしまうことも。早めの対応を心がけましょう。

一つでも気になる症状があれば医療機関に相談しましょう。

【監修】大塚誠一郎教授 泌尿器科 横山修先生



もっと詳しい情報が知りたい方へ、男性の排尿障害情報サイト「男性の排尿.jp」

男性の排尿.jp



男性の排尿 検索 danecchiobhaiyo.jp

グラクソ・スミスクライン株式会社 〒101-8502 東京都中央区千代田4-6-15 TEL 03-6221-1111 http://www.glaxosmithkline.com/jp